

北欧・東欧の絵本原画

会 期：2021年6月26日（土）▶ 8月29日（日）

休館日：月曜日（祝日、7月26日、8月9日は開館）

展示室内でのお願い

* 作品にはお手を触れないでください。

* 写真撮影はご遠慮ください。

* 携帯電話のご使用は他のお客様のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

* メモをお取りになる場合は鉛筆をご使用ください。

鉛筆をお持ちでない方は係員にお申し出ください。

作品リスト

No.	作家名	作品名	技法・材質	制作年	サイズ (cm)
1. 民話、わらべ唄のイラスト					
1	ヴァディム・メジボフスキ	ロシア民話のために	水彩、紙	1991年	21.2×35.0 *
2		セルビアのわらべ唄のために 1	水彩、紙	1997年	32.0×30.3 *
3	エレナ・ラチッチ	セルビアのわらべ唄のために 3	水彩、紙	1997年	32.8×33.0 *
4		セルビアのわらべ唄のために 2	水彩、紙	1997年	32.0×33.0 *
5		セルビアのわらべ唄のために 4	水彩、紙	1997年	32.5×32.7 *
2. 物語や詩集の挿絵					
6	ドラガナ・ヨヴチッチ	『ラ・フォンテーヌの寓話』より 1	色鉛筆、紙	1995年	29.0×39.5
7	テレサ・ヴィルビク	B A Ś N I E (アンデルセン童話より) 1	水彩、紙	1996年	44.3×32.5
8		B A Ś N I E (アンデルセン童話より) 2	水彩、紙	1996年	44.3×32.5
9	パヴェル・パブラク	『病気の子猫』より 2	アクリル、紙	1997年	23.5×32.0
10		『病気の子猫』より 1	アクリル、紙	1997年	23.5×32.0
11	ボシリカ・キセバッチ	ドラゴンと王子 (セルビアの民話より) 1	水彩、紙	1994年	26.8×38.6 *
12		ドラゴンと王子 (セルビアの民話より) 2	水彩、紙	1994年	27.0×38.6 *
13	ズデンカ・カヴァトヴァ・ タボルスカ	『時計職人フィリップと妖精の時計職人』より	アクリル・テン ペラ、紙	1996年	21.8×17.5
14	アルトゥル・ヨゼフ・	『レナルトウィッツー子供達』より 2	テンペラ、紙	1996年	28.7×20.1
15	ゴレビオフスキ	『レナルトヴィッチと子供達』より 1	テンペラ、紙	1996年	26.3×19.3
16	リータ・ウーシタロ	『ヴァルティアイネンとヘリコプター』より	墨、紙	1994年	28.0×35.0
3. 知育のためのイラスト					
17	オルガ・バユソヴァ	『バルボルカのアルファベット』より 1	水彩、紙	1997年	17.0×11.4
18		『バルボルカのアルファベット』より 2	水彩、紙	1997年	16.9×11.6

*は未刊

展覧会の趣旨

企画展「創業200周年 フィンレイソン展」にあわせ、コレクションの中から北欧・東欧の絵本原画を展示します。当館では現在、海外作家による絵本原画を52点所蔵しています。これらは1997年にスロヴァキア共和国で開催され、翌年その一部が日本国内を巡回した「'98ブラチスラヴァ世界絵本原画展」の出品作で、2012年に当館へ寄贈されたものです。今回はその中から10作家18点を選び、3つのテーマに分けてご紹介します。いずれの作品も、子どもたちの心が豊かに成長するよう願いを込めて描かれています。国際色に富んだ絵本原画の世界をどうぞお楽しみください。

ブラチスラヴァ世界絵本原画展とは

(通称BIB: Biennial of illustrations Bratislava)

1965年、スロヴァキア共和国の首都ブラチスラヴァで創設され、現在では世界最大規模の絵本原画コンクールとして知られています。1967年の第1回展から隔年で開催され続け、2015年に50周年を迎えました。過去グランプリに輝いた日本人作家は瀬川康男（1967年受賞）、中辻悦子（1999年受賞）、出久根育（2003年受賞）の3名。次席の「金のりんご賞」に輝いた日本人作家としては田島征三（1969年受賞）、安野光雅（1977年、1979年受賞）、ミロコマチコ（2015年受賞）等が挙げられます。